

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育者論 On early childhood educator and carer		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(保育士養成課程必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教師論その他教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
本講義では、保育者の仕事と役割、保育者になるための学び、保育士の制度的な位置づけ、保育者の職務と生活等々を題材にして、あるべき保育者像を考究する。				
授業の目標				
①保育者の仕事と職務を正しく認識することができるようにする。 ②保育と保育指導技術についての基礎・基本的な知識・技術を習得することができるようにする。 ③子育て支援の社会的意味・意義についての認識を正しく持つことができるようにする。 ④これからの保育者に期待される幅広い知識・教養・技術・技能、コミュニケーション能力、実践研究能力、組織的活動能力の基礎を習得することができるようにする。				
授業の方法				
基本的には、パワーポイントを中心とした講義形式で行うが、「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、発表やディスカッションも取り入れる。その中で、保育者の在り方を多角的に捉えられるようにしていきたい。また、8回目には振り返りの中間テストを実施。				
学習の成果（学習成果）				
①保育所の役割及び機能が適切に発揮されるように、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術をもって、子どもの保育並びに保護者に対する保育に関する指導の在り方を提案することが出来る。 ②我が国の子育て支援政策の現状と課題並びに地域社会の子育てをめぐる諸課題について正しい認識を有し、その課題の解決にあたる姿勢を身につけ、保育士としてその専門性並びに専門職的成長に、期待される保育者像につなげることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、授業の概要、進め方等の説明 レポートのテーマ及び提出期限等の説明			
第2回目	保育者になるということ 育てられる人から育てる人へ			
第3回目	保育者の仕事と役割（各法令から考える）			
第4回目	保育者に求められる資質と能力（保育者に求められる幅広い資質・現代の保育者に期待される役割・学生時代に学ぶこと）			
第5回目	保育者として働く（職場での学び・学び続ける保育者）			
第6回目	保育現場における様々な業務と職員間の連携について			

第7回目	特別な配慮を必要とする子ども達とこれからの保育について① 各保育実践から考える	
第8回目	特別な配慮を必要とする子ども達とこれからの保育について② 映像資料から考える	
第9回目	異文化・多様性理解教育(保育)の必要性① 映像資料から考える	
第10回目	異文化・多様性理解教育(保育)の必要性② これからの保育者に期待されるもの	
第11回目	保護者との連携・協働について	
第12回目	保育者の倫理 保育者の権利と研修 生涯の仕事としての保育者	
第13回目	保育者の専門性の発達について	
第14回目	時代が求める「保育・保育指導」と保育者	
第15回目	あそび通しての総合的な指導 保育者の関わり方	
事前・事後学習	保育所保育指針・幼稚園教育要領等を十分に読み込み、授業に臨むこと。また、日常的に新聞やニュースなどで保育や教育に関わるトピックスに注目し、時事に関する関心を高めてほしい。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。 ・協調性をもって授業に臨む姿勢。 ・準備・片付けなどに積極的に参加する。
レポート	30%	指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。(詳細は授業内で指示する)
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超え、自己の考え方も示されている。(詳細は授業内で説明する)
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
授業内で適宜資料を配布する。 参考図書：「保育所保育指針」厚生労働省 「幼稚園教育要領」文部科学省 「保育者論」 矢藤誠慈郎・天野珠路編 中央法規出版(株)		
履修上の留意点・ルール		
意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。		